

考える子

先週から各学年で、体力テストに取り組んでいますね。自分の運動能力がどのくらいだろうと理解するよい機会になると思います。

みんな一生懸命取り組んでいます、活躍しているのが6年生です。自分の記録に挑戦しているのはもちろんですが、1年生のお手伝いもしているのです。シャトルランでは、一緒になって走ってあげていました。「がんばれ」と声をかけている人もいます。見ていて、「思いやりのある子」の姿だなと思い、うれしく思いました。

さて、お手伝いしてもらった1年生ですが、1年生は1年生で、授業でがんばる姿がありました。この前の算数の授業では、「10はいくつといくつ」という勉強に挑戦していました。

「10は1と9だよ。」ある子がすぐに答えました。「4と6もあるよ。」次々に新しい組み合わせを考えています。2年生以上の人たちは、「そんなの簡単だよ。」と思うかもしれませんが、皆さんも1年生の時、勉強してきたことです。

すると、ある子がきまりを見つけました。「赤が1増えると、青は1減るよ」。赤とは分けた左側の数、青とは分けた右側の数です。「10は1と9」、「10は2と8」、「10は3と7」というように、10をつくる時、左側になる数と右側にある数の二つの関係を見つけたのです。

実はこれ、6年生の学習にもつながるのです。比例の勉強の時、「一方の量が増えると、もう一方の量があるきまりで増えていく。」そんなことを学習すると思います。「二つの量の間にあるきまりを見つける」という意味では、学習がつながっているのです。

代々木山谷小学校の教育目標の一つに「考える子」があります。学習を進める時、よく考える習慣をつけてください。今の例のように、学習はつながります。実はこれ、お勉強の場面だけではないのです。

「お友達とけんかしちゃった。どうやって仲直りしようか。」とか「来週までにこの仕事をやらなくてはいけない。どうやって進めようか。」そんな問題を解決するときも、「よく考える」ということは大切なことなのです。